

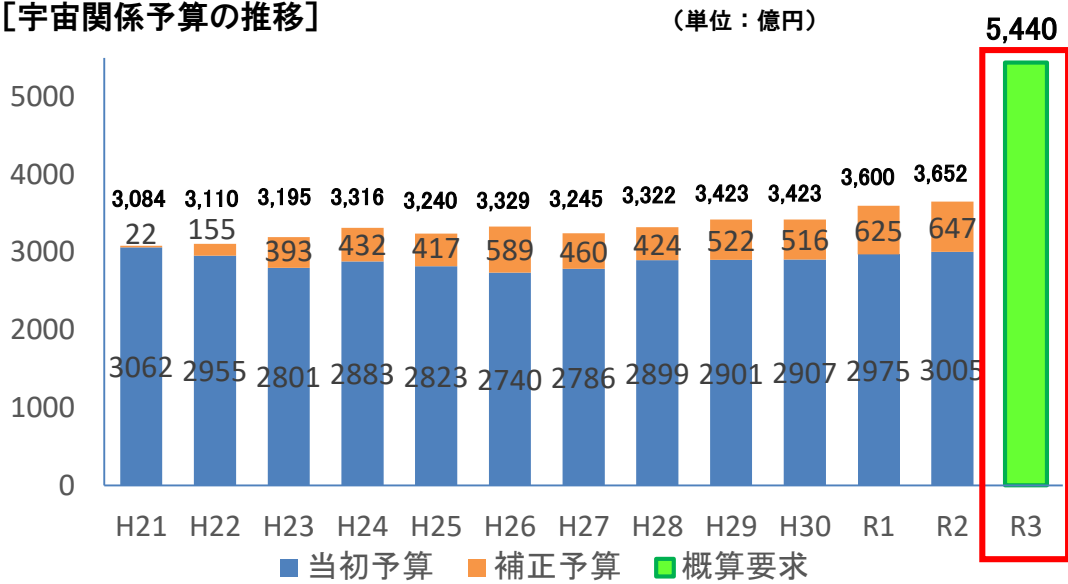
令和 3 年度宇宙関係予算の概算要求の状況 (全般)

令和3年度予算概算要求における宇宙関係予算

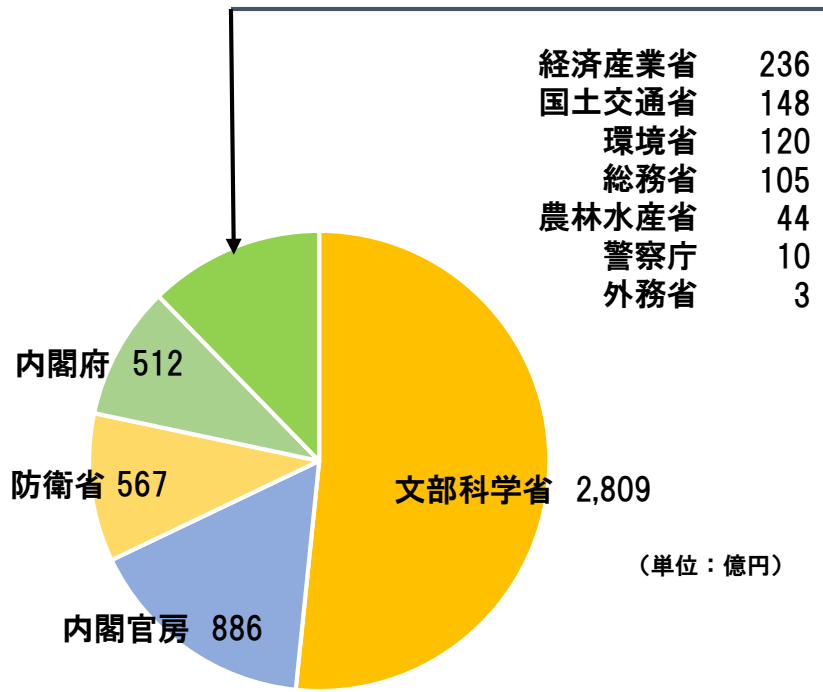
令和3年度予算概算要求
(令和2年度当初予算+令和元年度補正予算)

5,440億円 (前年度比 1,778億円増(49%増))
3,652億円

[宇宙関係予算の推移]



[省庁別内訳]



[内訳] (単位：億円)

府省名	令和2年度 当初予算	令和元年度 補正予算	計(令2+元補)	令和3年度予算 概算要求
内閣官房	625	160	785	886
内閣府	277	111	388	512
警察庁	10		10	10
総務省	72		72	105
外務省	3		3	3
文部科学省	1,544	321	1,865	2,809
農林水産省	3		3	44
経済産業省	28		28	236
国土交通省	96		96	148
環境省	36	53	89	120
防衛省	311	1	312	567
合計	3,005	646	3,652	5,440

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

各府省の主な要求項目

全府省庁合計 5,440億円

【内閣官房】	886億円	【農林水産省】	44億円
● 情報収集衛星の開発・運用	886億円	● スマート農業加速化実証プロジェクト	31億円
【内閣府】	512億円	【経済産業省】	236億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	305億円	● 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発	10億円
● 宇宙開発利用の促進	193億円	● 衛星データ・宇宙物体データ利用環境整備	21億円
● 中央防災無線網の整備等	2億円	【国土交通省】	148億円
【警察庁】	10億円	● 準天頂衛星を利用したSBAS等性能向上整備	39億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	10億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用	30億円
【総務省】	105億円	● 測量分野での利活用の推進	22億円
● 量子暗号通信網の構築	35億円	【環境省】	120億円
【外務省】	3億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	86億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	● 衛星による地球環境観測経費	23億円
【文部科学省】	2,809億円	【防衛省】	567億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	810億円	● SSA（宇宙状況監視）の強化	104億円
● H3ロケットの開発・高度化	206億円	● 宇宙を利用した情報収集能力等の強化	443億円
● 先進レーダ衛星の開発	157億円	● ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討等	17億円
● 技術試験衛星9号機の開発	134億円		(契約額ベース)
● X線分光撮像衛星（XRISM）の開発	95億円		

※ 各金額は四捨五入によって算出

令和3年度概算要求 宇宙基本計画への対応状況（例）

1. 宇宙安全保障の確保

- 準天頂衛星システムの開発・整備・運用（内閣府） 305億円
- 情報収集衛星の開発・運用（内閣官房） 886億円
- SSA（宇宙状況監視）の強化（防衛省） 104億円
- ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討等（防衛省） 17億円（契約額ベース）

2. 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

- 静止気象衛星ひまわりの運用（国交省） 30億円
- GOSATシリーズによる地球環境観事業等（環境省） 86億円
- 先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発（文科省） 157億円

3. 宇宙科学・探査による新たな知の創造

- アルテミス計画に向けた研究開発等（文科省） 810億円
- 月面活動の本格化に向けた研究開発（内閣府（調整費）） 193億円の内数
- X線分光撮像衛星（XRISM）の開発（文科省） 95億円

4. 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

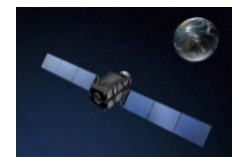
- 衛星データ・宇宙物体データの利用環境整備（経産省） 21億円
- スマート農業加速化実証プロジェクト（農水省） 31億円
- 測量分野での利活用の推進（国交省） 22億円

5. 産業・科学技術基盤を始めとする総合的基盤の強化

- H3ロケットの開発・高度化（文科省） 206億円
- 戦略的な衛星開発・利用の促進（内閣府（調整費）） 193億円の内数（再掲）
- 量子暗号通信網の構築（総務省） 35億円

宇宙開発戦略推進事務局の令和3年度概算要求

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用



準天頂衛星「みちびき」

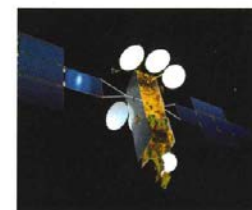
R3年度概算要求額 304.8億円（R2年度予算267億円※）

（※R1補正予算111億円との合計379億円）

準天頂衛星の4機体制の運用と7機体制の確立に向けた開発・整備の着実な推進、機能・性能の向上等に取り組む。

2. 宇宙開発利用促進調整費（仮称）

R3年度概算要求額 192.9億円（新規）



衛星フルデジタル化

①将来の月面開発に必要となる技術や、②衛星の開発利用に係る共通基盤となる技術について各省連携により効率的・効果的に研究開発・実証を行う。



月面の遠隔建設

3. その他（宇宙利用拡大のための調査研究等）

R3年度概算要求額 12.2億円（R2年度予算8.8億円）

衛星開発・実証プラットフォームにおける戦略検討に必要な調査分析を含め、宇宙利用拡大のための調査研究を実施。

合計 R3概算要求 510億円（R2予算276.2億円）

（※R1補正予算111.3億円との合計 387.4億円）